

# 若松区のまちづくり 主な事業・取組

凡例



まちづくり団体やNPO等が主体となっている事業

市と他団体・企業等が協働で行っている事業

## I 「稼げるまち」の実現

### 1. 稼げる「人」を育む

#### (1) 若者チャレンジへの支援

##### ◆ 高校生による企業見学会の実施



地元企業などが若松の発展・にぎわいづくりに貢献することを目的として、令和4年8月に結成した「若松あつまる会」の支援を受け、地元高校生の地元企業への就職につなげるため、企業見学会を実施します。

【問い合わせ先:総務企画課 TEL771-3559】

##### ◆ 子ども向けの仕事体験イベントの開催



「若松まつり行事協賛会」が毎年開催する「若松みなと祭り」において、地元の企業・団体の協力により、子ども向けの仕事体験イベントを開催し、子どもたちに地元の企業について知ってもらうとともに、将来の地元就職を考えるきっかけづくりを行っています。

【問い合わせ先:総務企画課 TEL771-3559】

#### (2) 性別にかかわらずないキャリア形成の支援

##### ◆ ジェンダーの平等に向けた取組

女性職員の活躍を推進するため、ワーク・ライフ・バランスの推進、職域拡大、昇任試験受験喚起、各種研修の参加奨励等に取り組んでいます。

また、男女間の格差を改善し、持続的なジェンダー平等を実現するための研修や男性職員の育児休業の取得促進などにも積極的に取り組んでいます。

【問い合わせ先:総務企画課 TEL761-4045】

## 2. 稼げる「産業」をつくる

### (1) 成長の芽となる「未来産業」の振興

#### ◆ 北九州学術研究都市の整備



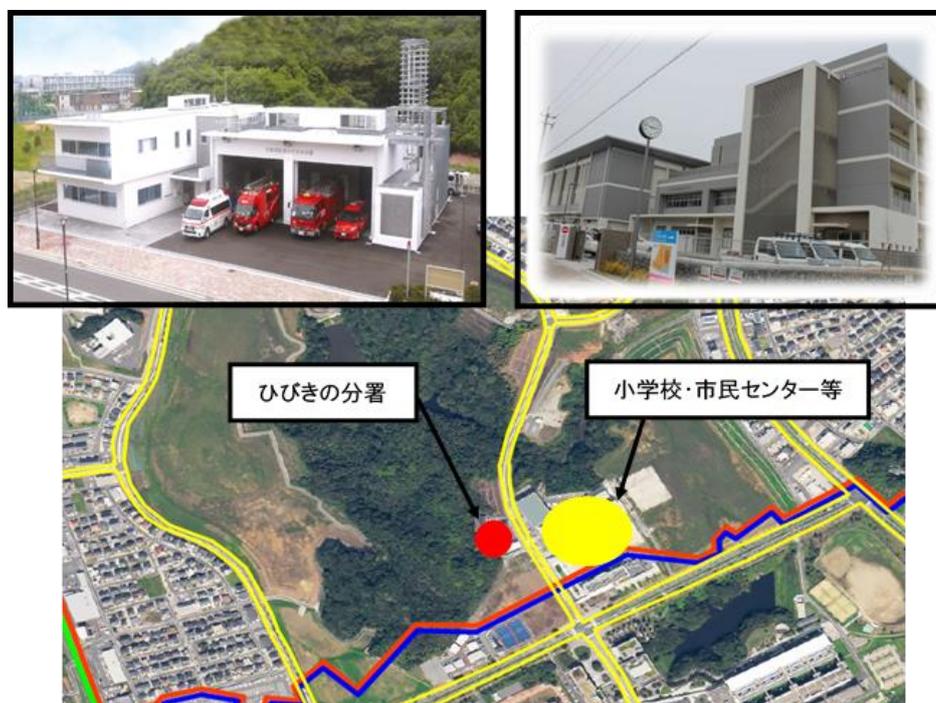
北九州学術研究都市は、アジアの中核的な学術研究拠点及び新技術の開発や新産業の創出拠点を目指し、平成13年4月にオープンしました。現在では、北九州市立大学国際環境工学部、九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科や研究機関が一つのキャンパスに集積しています。

(公財)北九州産業学術推進機構【FAIS】では、地域に集積する大学・研究機関と産業界とのコーディネートを行い、産学連携による自動車やロボットをはじめ様々な分野における新技術の開発や新産業の創出を推進しているほか、アジアを中心とした海外の大学との交流・連携や留学生の支援など、グローバルな視点で教育・研究活動の支援を行っています。

これら学術研究機関の集積と合わせて、周辺の自然環境や都市環境を活かした良好なまちなみ形成に取り組んできました。

土地区画整理事業による基盤整備は平成30年度に完了し、小学校や市民センター等が新設され住環境が整ったことで、現在約1万人がこの地区に移り住み新しい生活を始めています。

また、若松区西部の消防・救急体制を強化するため、若松消防署ひびきの分署を新設し、平成30年7月1日から運用を開始しました。



#### 【問い合わせ先】

『学術研究都市』産業経済局未来産業推進課

『土地区画整理事業』都市戦略局事業推進課

『消防分署新規整備』消防局総務課

TEL582-2905

TEL582-2469

TEL582-3802

## (2)「北九州グリーンインパクト」の推進

### ◆ 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業



響灘地区における再生可能エネルギー（風力発電、太陽光発電）などの立地ポテンシャルの高さを活かし、地域の成長を支えるとともに、脱炭素で安定したエネルギーを供給することを目指します。

また、平成27年12月には、北九州市と民間企業の共同出資により、地域エネルギー会社「株式会社北九州パワー」が設立され、市内で発電された脱炭素電力を市内施設に供給しています。

事業の開始時は低炭素でしたが、令和2年10月29日に本市として「カーボンゼロシティ」を宣言して以降、脱炭素に向けた取組を開始しています。



詳細：北九州市ホームページ

「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」 <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/00200086.html>

「北九州市のエネルギーマップ」 [https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/file\\_0355.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/file_0355.html)

【問い合わせ先：環境局再生可能エネルギー導入推進課 TEL582-2238】

### ◆ グリーンエネルギーポートひびき事業



2011年、響灘地区の臨海部に、風力発電の関連産業を集積させることを目的とした「グリーンエネルギーポートひびき」事業を立ち上げました。

本事業の目標は、「風車の積出・建設拠点」、「風車部品の物流拠点」、「風車の運転管理やメンテナンスを行うO&M拠点」、さらに「風車の関連部品を製造する製造産業拠点」の4つの拠点機能を有する「風力発電関連産業の総合拠点の形成」です。

本事業は、3つのフェーズに分け段階的に進めています。

(1) 響灘地区に風車の実証事業などを誘致する第1フェーズ

(2) 響灘に大規模な洋上風力発電事業を誘致する第2フェーズ

(3) 拠点形成に向け産業集積や市場開拓等を実施する第3フェーズ

第1フェーズについて、2013年に、風車の実証事業を公募し、その結果、「3.3メガワット級の風車2基」「5メガワット級の風車1基」「風車のメンテナンスのための倉庫兼トレーニングセンター」の誘致に成功しました。現在いずれも順調に運営されています。

第2フェーズについて、2014年に、わが国初の洋上ウインドファームを響灘の港湾区域内に誘致するための取組に着手しました。その後、2016年に事業者の公募を行い、翌2017

年に、ひびきウインドエナジー社を事業者として採択しました。同社は、2023年3月に工事を開始し、2025年度中の運転開始に向けて、着実に事業を進めています。

第3フェーズについては、本事業の目標である「総合拠点の形成」に向け、現在、まず基盤づくりとして基地港湾の整備に取り組んでいます。さらに、産業拠点づくりとして、響灘地区への産業集積や、西日本地区におけるウインドファームの市場開拓などを進めています。



総合拠点のイメージ

詳細：北九州市ホームページ

「グリーンエネルギーポートひびき事業」

→ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/30300033.html>

「海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（基地港湾）の指定について」

→ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/30300034.html>

【問い合わせ先：港湾空港局エネルギー産業拠点化推進課 TEL582-2994】

#### ◆ 響灘東地区処分場整備事業

現在、市民生活・市内企業の活動に伴い発生する廃棄物や航路・泊地の浚渫土砂は、響灘西地区の処分場で受け入れています。受入のための空き容量が少なくなっており、新たな処分場の整備が必要になっているため、響灘東地区（響町二丁目地先）に、新たな海面処分場を整備しています。

処分場の面積は約38haで、令和13年度の完成を予定しています。

【問い合わせ先：港湾空港局整備課 TEL321-5975】

## ◆ 響灘エコフロンティアパーク



「低炭素（次世代エネルギーパーク）」「資源循環（エコタウン）」「自然共生（緑の回廊・ビオトープ）」の3要素が結合した新しい産業システムが成立するまちを目指し、エネルギーや資源の効率的利用、再生可能エネルギーの導入等を一体的に進め、エネルギー消費量、温室効果ガスの排出及び廃棄物発生が最小となるよう取り組みます。



詳細：響灘エコフロンティアパークホームページ → <http://www.ecofrontier.jp/>

## ◆ 次世代エネルギーパーク（低炭素）



太陽光や風力などの新エネルギーを実際に見て触れる機会を増やし、理解を深めてもらうための取組です。エネルギー供給基地や、次世代エネルギーパークを担う太陽光・風力等の自然エネルギーやバイオマスエネルギーのほか、エネルギーの企業間連携や革新技術の研究のことなど、様々なエネルギーの取組について学ぶことができます。

詳細：次世代エネルギーパークホームページ

→ <https://www.kitaa-ecotown.com/enepa/>

【問い合わせ先：環境局再生可能エネルギー導入推進課 TEL582-2238】

## ◆ 北九州エコタウン事業（資源循環）



あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、可能な限り廃棄物をゼロに近づける「ゼロ・エミッション」を目指した、循環型社会の構築を図る先駆的な取組です。市民をはじめ、国内外から毎年、約10万人の見学者が訪れており、工場やエコタウンセンターの見学を通じて、リサイクル事業に対する理解を深めていただいています。

詳細：北九州エコタウン事業

→ <https://www.kitaa-ecotown.com/>

【問い合わせ先：環境局サーキュラーエコノミー推進課 TEL582-2630】

## ◆ 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創生事業（自然共生）



響灘埋立地において、産業と自然が調和した魅力ある地域づくりを目指すものです。市民が自然とふれあいながら生物多様性の重要性や生態系の仕組みを学べる自然環境学習拠点として、平成24年10月に響灘ビオトープがオープンしました。

参考：響灘ビオトープホームページ

→ <http://www.hibikinadabiotope.com/>

【問い合わせ先：環境局自然共生係 TEL582-2239】